

りそな 経済フラッシュ

(ECB <欧州中央銀行> 理事会)

◎注意事項をよくお読み下さい

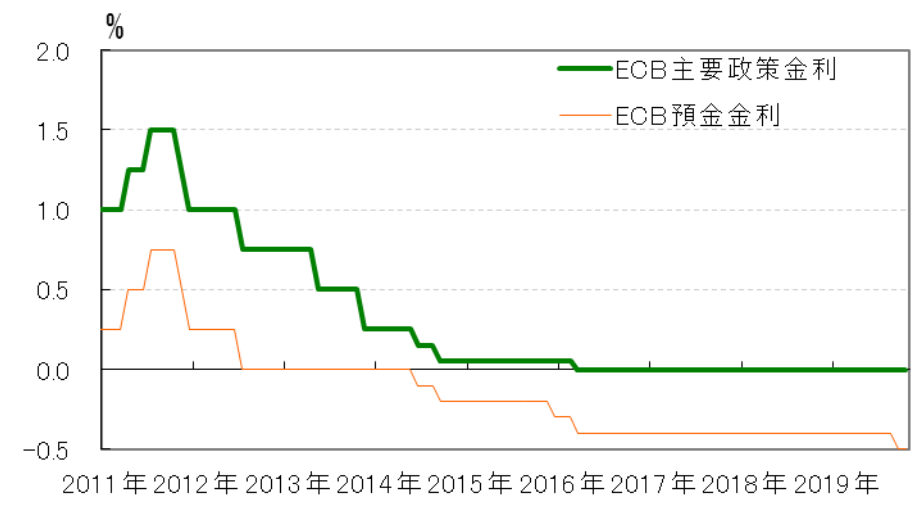


〇概況

- ◆ 今回の理事会は、前回決定した緩和パッケージを据え置き
- ◆ 前回の予告通り11月1日から200億ユーロ/月の資産買入を開始
- ◆ 今回の据え置きは市場予想通りであり、反応は限定的

- ✓ 10月24日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、**前回会合で決定した5つの緩和パッケージが据え置かれ、中銀預金金利は▲0.50%、主要リファイナンス金利は0.00%、中銀貸出金利は0.25%で据え置き。**
- ✓ 前回会合で予告していた量的緩和(QE)の再開についても、予定通り11月より200億ユーロ/月の資産買入を、次回利上げ直前まで実施するとした
- ✓ フォワードガイダンス（将来の金融政策方針）について、「**インフレ目標の実現がしっかりと見通せるまで**」を据え置き。**また満期を迎えた債券の償還金に関して、長期間の再投資を継続。**
- ✓ 今回が最後の理事会となったドラギ総裁は、記者会見にて、自身の任期のレガシーは「諦めないこと」とし、粘り強い緩和スタンスの重要性を示唆した。また、会見の結びとして「コミュニケーション」が金融政策の重要なツールであるとし、今後も透明性や誠実さを高める努力の必要性を示唆した。
- ✓ 今回の理事会での政策据え置きは市場予想通りであったため、市場の反応は限定的となった。一方で、昨日発表されたユーロ圏PMIは軟調な内容となっており、ユーロ圏の景気見通しは引き続き弱い。メンバー間の意見の相違から追加緩和へのハードルは高いが、**大規模な金融緩和は今後も維持されよう。**

【ECB政策金利と預金金利】



【ECBスタッフ見通し（9月時点）】

	2019年	2020年	2021年
実質GDP成長率	+1.1	+1.2	+1.4
6月時点の見通し	+1.2	+1.4	+1.4
HICP(消費者物価)	+1.2	+1.0	+1.5
6月時点の見通し	+1.3	+1.4	+1.6

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。